

議会だより

かみやま

第45号

2020.8.15

6月定例会



- 第2回臨時会…………… 2頁
- 町長の諸般報告…………… 4頁
- 令和2年度補正予算、その他…………… 5～6頁
- 6月定例会一般質問…………… 7～12頁

・第2回・臨時会

令和2年5月20日、第2回臨時会が行われた。専決予算5件 専決条例4件 補正予算1件ですべて承認、可決された。

専決

- 令和元年度神山町一般会計補正予算(第7号)
- 令和元年度神山町国民健康保険特別会計補正予算(第5号)
- 令和元年度神山町介護保険特別会計補正予算(第4号)
- 令和元年度神山町後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)
- 神山町税条例等の一部改正
- 神山町国民健康保険税条例の一部改正
- 神山町介護保険条例の一部改正
- 神山町介護保健条例の一部改正
- 令和2年度神山町一般会計補正予算(第1号)

補正

- 令和2年度神山町一般会計補正予算(第2号)



令和2年度 一般会計補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ

8,967万円

予算総額

61億8,093万円

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

総務課	●新型コロナ対策生活応援給付金(1万円×5,224人分)	5,224万円
	●緊急避難場所設置備品購入費(マスク、パーティション、消毒液等)	120万円
健康福祉課	●神山温泉利用助成業務委託料	1,525万円
	●高齢者等タクシー利用助成事業委託料	1,061万円
	●出産祝金(1人11万円)	88万円
	●備品購入費(非接触型体温計)	34万円
住民課	●新型コロナ対策事業所応援給付金(タクシー会社3社10万円×3)	30万円
産業観光課	●新型コロナ対策事業所応援給付金	655万円
	(町内の飲食業、宿泊業40店 10万円)	
	(町内在住の道の駅・神山温泉に出荷されている方に3万円×85人分)	

6月定例会は、令和2年6月19日から26日までの8日間の会期で開催した。専決条例、令和2年度補正予算のほか、条例の一部改正、神山町農業委員会委員の任命、人権擁護委員候補者の推薦等を含む29件を審議し、全議案原案のとおり承認、可決、同意した。

- 神山町選挙管理委員及び補充員の選挙
- 神山町手数料条例の一部改正（専決）
- 令和2年度神山町一般会計補正予算（3号）
- 令和2年度神山町国民健康保険特別会計補正予算（1号）
- 令和2年度神山町簡易水道事業特別会計補正予算（1号）
- 令和2年度神山町介護保険特別会計補正予算（1号）
- 令和2年度神山町後期高齢者医療特別会計補正予算（1号）
- 神山町税条例の一部改正
- 神山町国民健康保険条例の一部改正
- 神山町固定資産評価審査委員会条例の一部改正
- 神山町後期高齢者医療に関する条例の一部改正
- 神山町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
- 大埜地集合住宅コモンハウス新築工事変更請負契約の締結
- 神山町過疎地域自立促進計画の一部変更
- 神山町農業委員会委員に占める認定農業者等又はこれらに準ずる者の割合を4分の1以上とすること
- 神山町農業委員会委員の任命
- 人権擁護委員候補者の推薦

■ 要望及び陳情

3件の要望及び陳情があり、議員に資料配布した。

- 家族従業者の働き分を認めない所得税法第56条の廃止を求める要望（協議継続）
- 徳島県主要農作物種子条例制定を求める意見書の採択を求める請願書（協議継続）
- 「1年単位の变形労働時間制」の導入に反対する陳情

23日

一般質問

森本 孝夫 議員、新居 榮二 議員、平岡 晴喜 議員、白土 義信 議員、森 一博 議員、高橋 義英 議員

24日

町内視察

フードハブかま屋・鮎喰川コモン・NPO里山みらい・城西高校神山校あゆハウス 視察 議員全員

町長の諸般報告

この度の新型コロナウイルス感染症拡大から学ぶべき事は、一極集中から地方分散である。この様な地方への追い風であると言える中、地方創生戦略による「まちを将来世代につなぐプロジェクト」が2期目を迎えるにあたって、この流れをうまくキャッチし、本町をいかに元気にしていくかという観点を盛り込みながら神山町を持続可能な町としていける様、しっかりと議論していく。

■教育の魅力化

城西高校神山校は学科再編による教育課程の見直しや体験入学、オープンスクールによるPR活動により進学を希望する生徒が増加した。事前に町や学校へ訪問していた入学者の割合は平成28年度には38%であったが、令和2年度は70%となった。また、入学希望者は、定員を3名上回り、神山中学校からは8名が入学した。文部科学省の「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」に県内で唯一採択され、地域で学び、地域と育つ高校として、町としても今まで以上に積極的に関わりをもっていきたい。

■地方創生関連

今年度創生戦略5年目の節目であり、次の5年に向けて第2期創生戦略の策定作業を行う。これまでの積み重ねをよりよく持続させていくため先の4年間をしっかりと検証し、住民の声を聞き進めていきたい。

■大桠地集合住宅

第3期工事分として2戸一の住宅1棟、3戸一の住宅1棟が完成し、入居がはじまっている。

また、第4期工事分として2戸一の住宅1棟、3戸一の住宅を1棟進めている。

この4期工事とコモンハウスの工事が竣工すると大桠地集合住宅全ての計画が完了する。

■国道関係の主な予算

道路改築事業、一般国道438号上分地区5,700万円。緊急地方道整備事業、現道拡幅に県道石井神山線阿野1,500万円、県道石井神山線長代1,000万円、県道鴨島神山線二ノ宮から地ノ平1,500万円、県

道神山川島線1,500万円。県道神山国府線旧阿野橋付近1,000万円。一般国道438号城西高校神山校前5,500万円。県道鬼籠野国府線一ノ坂の橋りょう測量設計1,500万円。県単独道路局部改良事業、県道石井神山線現道拡幅1,300万円、県道神山鮎喰線養瀬旧道整備に2,500万円の予算が配分された。

■民生費

放課後児童クラブ運営委託料として、33万1,000円追加計上。新型コロナウイルス感染症対策として、小学校休校中の児童クラブへの参加自粛を保護者へお願いした。4月分の保護者負担金を無料とし、運営費を補填する。

■商工費

神通滝遊歩道から滝壺たきまでの階段を新設工事として140万円計上。

■教育費

避難所指定されている施設の非構造部材の安全措置を講じることとされたことを受け、神山中学校体育館非構造部材耐震対策工事を計上。



令和2年度 一般会計補正予算 (第3号)

歳入歳出それぞれ

1億8,205万円増額

予算総額

63億6,298万円

総務費 ● 積立金 (財政調整基金積立金)	500万円
(庁舎等増改築基金積立金)	6,014万円
● 自動車運行費 (神山の休日応援バス利用者支援金)	825万円
● 企画費 (コミュニティ助成事業補助金)	490万円
(地域おこし企業人派遣負担金)	500万円
民生費 ● 委託料 (放課後児童クラブ運営委託料)	33万円
衛生費 ● 水道対策費 (小規模飲料水供給施設応急対策補助金)	1,000万円
商工費 ● 観光費 (神通滝遊歩道新設工事)	140万円
● 道の駅管理費 (施設改修工事)	120万円
土木費 ● 住宅管理費 (高瀬団地駐車場整備工事)	288万円
教育費 ● 学校管理費 (中学校) (非構造部材耐震対策工事)	2,250万円
● 文化財保護費 (廃棄物処理委託料)	723万円
(神通発電所道路拡幅及び倉庫解体工事)	300万円
災害復旧費 ● 現年林道災害復旧費 (工事請負費)	3,000万円

令和2年度特別会計補正予算

会計名	補正額	補正後の額
国民健康保険特別会計	2,251万円	8億4,251万円
簡易水道事業特別会計	721万円	1億7,391万円
介護保険特別会計	3,717万円	10億6,277万円
後期高齢者医療特別会計	44万円	1億3,473万円

第2回

名西消防組合議会 臨時会

第2回臨時議会は6月25日石井町役場議場で開催された。本臨時会では議案1件を審議し、原案どおり可決した。

【議案第5号】

財産の取得について

議案第5号では、神山署の現行救急車両が走行距離約15万kmに達しておりまた、昨年度の出動回数も130件あることから高規格救急車両1台の更新を財産の取得に関する条例に基づき可決した。

更新される高規格救急車両の配備先は神山署となり、神山署において現行の旧車両は予備車両として石井署に配備となる。

神山町

選挙管理委員 及び 補充員の選挙



任期

令和2年6月30日から

令和6年6月29日

選挙管理委員

井上 権一氏
妙見 尹志氏
河野 訓生氏
上田 一夫氏

補充員

山口 世津子氏
空野 一夫氏
尾西 逸夫氏
川野 公江氏

人事案件

神山町農業委員会委員の任命

任期

令和2年7月20日から令和5年7月19日

相原 利章氏 阿野字松尾
井上 善司氏 上分字大中尾
森 三千子氏 阿野字白嶽
武市 佐市氏 下分字竹平
河野 宏吉氏 神領字西青井夫
森 昌槻氏 神領字東大久保
中西 隆子氏 鬼籠野字黒河
加藤 宏行氏 下分字地野
森本 守氏 阿野字二ノ宮
高橋 正和氏 鬼籠野字小原
原田 健義氏 阿野字五反地
鍛 喜文氏 神領字川北
山本 實義氏 下分字地中

人権擁護委員候補者の推薦

任期

令和3年1月1日から令和5年12月31日

高橋三枝子氏 鬼籠野字東分
立石 芳久氏 阿野字長谷
(鍛治 昇氏 退任の為)

議会活性化特別委員会を

設置いたしました

今6月定例議会において議会活性化特別委員会を設置することとなりました。この委員会は当議会が行政を担う両輪の一翼として今以上に機能していくために議員資質の向上を目的とし、議員のなり手不足の解消・多様な人材確保や災害時の議員の役割などの調査を行い、結果を全員協議会にかけて議員間討議の活性化や、企画立案能力の向上を目指します。当面は業務の効率化や新しい事への取り組みができる議会としてペーパーレス化に向けたタブレット端末の導入に取り組んでいきたいと考えています。

住民の付託にこたえられる魅力ある議会を目指すに当たり本特別委員会が起点となれます様、活動していきたい。

議会活性化特別委員会

委員長 森 一博
副委員長 白土 義信
委員 河野 雅俊・高橋 義英
(森 一博)

一般質問



森本孝夫 議員

●質問1●
新型コロナウイルスによる
授業の遅れについて

新型コロナウイルスの影響に伴う授業の遅れを取り戻すため、授業時間の確保をどのよう
な対応で望まれるのか。

答弁 教育長

町内の学校では4月以降の臨時休業中で、実質休業した日数は13日である。神山町では平成27年度より夏休みを7日間短縮している。夏休み中、5日間の登校日を設定し通常授業を実施。さらに小学校では朝の学習の時間の15分を週3日教科学習の時間に当てる。中学校では、一週間の教科学習の時間を1時間増やし年間で36時間確保でき

6日分確保する。

再問

休校中各学校は家庭で過ごす児童生徒の健康状態や学習状況の把握はどのように努めていたのか。

答弁 教育長

一回の登校日を設定し、また、家庭訪問や電話連絡等で生活状況、健康状態などを、確認して児童生徒の休業中の生活指導を行っていた。

●質問2●
特別定額給付金(10万円)

新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として国から一人一律10万円給付金について6月19日時点の支給状況を町長より報告を受けていたが、現在の給付手続きと支給状況は。

答弁 総務課長

6月22日現在で2,279世帯、4,858人に振込が完了している。2,360世帯、5,019人、97%が申請済みである。

再問

一人暮らしの高齢者、病院や

介護施設で生活している一人住まいの高齢者の対応はどのようにするのか。全世帯、全町民が申請期限内8月24日までに給付手続きを済ませ、100%支給に近づける対応について答弁を求めぬ。

答弁 総務課長

一人暮らしの高齢者等については、民生委員等をお願いをして、また施設の方へ依頼をし、給付手続きのお助けをお願いしている。若干、宛名不在で返ってくる申請書もあり、限りなく居場所を特定し、再送付を行って、申請を促したい。

●質問3●
廃校になっている小・中学校の活用について

耐震補強ができている町の施設を改修、改装、整備を行い、新型コロナウイルス災害に備えた施設に活用出来ないか。また、地域住民の方々が気楽に集まり、寄り添って楽しく共同使用できる場所として活用できないか。

答弁 総務課長

廃校になっている小中学校のうち耐震補強ができていない広野小学校旧校舎、旧鬼籠野小学校一ノ坂校舎、新耐震基準で建設されている旧阿川小学校校舎、旧上分小学校西側校舎は、地震、土砂災害の避難所として指定している。

広野小学校旧校舎は一部を学童保育が、旧阿川小学校校舎は一部を各種団体が使用している。避難専用施設に改修するには多額の経費が必要となるため、現在のところ難しいと考えられている。共同使用についても、公民館等を活用していただきたい。



旧阿川小学校校舎

一般質問



新居榮二 議員

●質問1● 新型コロナウイルスについて

徳島県内自治体のマスクの状況が報道され「入手困難な町民のために配布してほしい」との投稿があった。健康福祉課に問い合わせたが配布するマスクは無いとの答えだった。

3万枚弱の備蓄マスクをどのように配布活用したのか。

答弁 健康福祉課長

災害用備品に成人用1万枚、小児用900枚。成人用を職員用団体等に5,791枚配布。災害時相互応援用として石井町に5,000枚、各種団体等に3,330枚を貸付した。

現在備蓄用を除き成人用10,349枚、小児用80枚管

理している。

再問

5月20日の臨時議会で可決された非常用備蓄マスクの購入状況と今後の使用時には優先順位をどのようにつけるのか。

答弁 総務課長

現在入札を執行しまもなく納品予定。災害時の避難場所にも備蓄を行いたい。

新型コロナウイルス感染症の第2波、第3波に備えて備蓄を増やしてほしいと思う。

●質問2● 神戸中学校の工事

3月当初予算で13億8,766万の内10億円は起債として国県等の補助金は無いとの事だった。

3月議会の頃と経済状況が大きく変化し国の財政状況の悪化が予想される現在、空き校舎の一時利用を考え新築工事を延期か一時凍結し高専の開校の認可を確保後工事を着工してはどうか。

答弁 教育次長

現在学校を新築することに対して国等の補助金はない。

答弁 町長

空き校舎の利活用は移動にかかる経費や負担、学業への影響を考え当面の計画通りに進める。

再問

過去のオイルショック後に建設費が高騰したが今回も建設資材が値上がりし建築価格が高騰する予測はしているのか。

答弁 教育次長

現在のところ値上がり等については検討していない。

答弁 町長

コロナ収束後すぐに経済が回復するとは思われない。デフレ傾向がより強まっている。

●質問3● #06111高専の工事

徳島新聞に「寮兼用の教室棟建設」との記事が掲載されたが議会に用地取得や整備の承認を得ずに無償譲渡との情報を提供したのか。

答弁 町長

無償譲渡することについて、メディアに報告したことはない。全員協議会で示している。

再問

校舎や運動場、学生寮の敷地を町が買収提供するのであれば、公設民営方式となるのではないか。まず開校後の収支予算書や各種資料を調査検討し町の関与は慎重に進めるべきではないか。

答弁 町長

教育運営等の契約に明るい専門の方と町が協議しながら契約書を巻く。町に累が及ばない内容にする。

私立学校についてはさまざま問題が発生している。慎重に進めるべきと思う。



まると高専寮予定地

一般質問



平岡晴喜 議員

● 質問1 ● 渇水対策について

過去の議会でも再三質問され、非常に重要な問題で町当局でも十分認識されていると思うが、保水力アップ等の対策は、どのような計画のもと進められているか。

答弁 町長

小規模飲料水供給事業の補助制度は一人でも対象にする。水の不足されているお宅へポリタンクを持って配給。お風呂に入れない方々には神山温泉を無料で利用出来るようにしている。保水力アップについては間伐等々の推進で矢治谷等で民有林



町地図及び主要路線（矢治谷町有林）



矢治谷町有林植樹風景

を買収し公有林化して落葉樹等を植栽、水源地となる山林の保水力を高める活動を推進してい

る。

保水力については長期にわたる大きな課題と思っている。

保水力対策の効果の確認方法に鮎喰川の水量を日々確認整備が必要である。

● 質問2 ● 高齢者福祉について

安否確認やゴミの運搬、災害時の避難行動など車を運転できない高齢者が増えている状況となっている。どのような対策を今後とっていくのか。

答弁 健康福祉課長

高齢者数がピークとなる2040年に向け高齢者のみの世帯等増加が加速すると考えられる。

令和2年3月末現在1,253世帯となっている。平成28年から高齢者の困りごとの発掘を行って地域包括支援センターが主体となり神山つなぐ公社で実施している「神山町生活支援・介護予防サービス提供体制整備

推進協議体」を設置、地域コミュニティの再生を目指している。今年度は移動と買物支援から解決方法を探っている状況。

民間企業によるゴミ出し等のお手伝いサポートも実施されていたが、昨年12月中止している。

早急に住民主体による生活支援・介護予防サービス等をはじめとする地域包括ケアシステムの充実を図り、「支え合いの地域づくり」を行っていききたいと考える。



一般質問



白土義信 議員

●質問1● 神山町産材使用住宅について

町産材を使用して住宅の新築や増改築をする場合補助金があるが、町産材使用拡大を図るため倉庫や車庫等にも補助金適用の要綱の緩和の検討の考えは。

答弁 産業観光課長

まず町の住宅補助として若者定住支援住宅、空家利用改修事業、移住支援空家改修事業を制定している。いずれの要綱も、台所、トイレ、浴室、居室を有し自己の居住に供すると定めており、神山町産材使用住宅新築等補助金についても同様で、現時点での見直しは考えていない。

答弁 町長

倉庫や車庫に適応できないかということだが、現在のところ適応できないが、よく検討してみたい。

●質問2● 神山中学校・町民体育館等新築工事について

神山町では、神山中学校の新築移転や、町民体育館の新築等大きな工事が控えている。これらの工事においても町産木材を多量に使用し、そのことにより木材関係者、製材関係者の仕事の確保にもつながり、生徒たちも木の魅力を再確認して、勉強やスポーツに取り組むことができると思うが、町の考えを聞きたい。

答弁 教育次長

神山中学校新設などの基本設計や現在発注している校舎建設設計の仕様書の中で「とくしま木材利用指針に基づき、県産材の利用に努めることとする。また、町認証材を積極的に利用す

ること。」を謳っている。今後業者との打ち合わせで内装材に認証材の利用を多く取り入れるように依頼する予定となっている。

●質問3● 新型コロナウイルス感染拡大防止について

新型コロナウイルス感染拡大防止のために町内各地で長く続いている行事やイベントが中止になり、住民もさみしい思いをしている人が多いと思う。夏から秋にかけても中止のところが多いようだが、今後開催するにあたり全面的に心配ないという町としての基準のようなものは考えているのか。

答弁 町長

現在のところ収束に向かっていくところではある。しかし、第2波、第3波がいつ襲来してくるかという懸念もある。イベントの開催の基準、指針となるのは、基本的には国が示している、3密を避ける、ソーシャル

ディスタンスをとる、体調不良がある方は参加を控えてもらう、クラスターを発生させない等、新型コロナウイルス感染症拡大防止の基本をしっかりと整えながら開催することになるかどうかと思う。

町が主催する場合と、民間の実行委員会等が主催する場合がある。主催者がその時の状況、感染状況等をみながら判断することになる。



下分七夕まつり風景 (本年度中止)

一般質問



森 一博 議員

● 質問1 ● 新型コロナウイルス感染 拡大防止対策について

新型コロナウイルス対策事業所応援給付金について、町内対象事業所への支給は完了しているのか。また、その業種に付随する業者に対しては今後何かする予定はないのか。

答弁 産業観光課長

町内対象事業者36業者中32業者が完了している。道の駅・神山温泉への出荷者79件に関しては、それぞれの事業所に取りまわとめていただいで提出するよう依頼中である。その他の業種については国の持続化給付金を申

請して頂くか、国の2次補正での対応を含め検討していきたい。

再問

これから入る台風シーズンや、大規模地震など災害発生時に避難所でのコロナ対策は、具体的にどうするのか。3密を避ける為に現在の避難所数で大丈夫なのか。

答弁 総務課長

町指定避難所は町内に31か所、一人2㎡の使用で4,360人まで収容可能であるが、コロナ対策下では一人当たり4㎡となり収容人数は2,000人まで減少する。大規模災害発生時の避難想定人数は320名なので収容は可能。避難所内で感染者が出た場合は、別避難施設の開設や避難所内にある別室への隔離を実施する。災害の規模や種類によって避難施設の利用が困難になる場合は野外用テントの活用、車中泊、知人宅への避難の呼びかけ等を

考えている。先の臨時議会で承認された除菌関連備品のマスク1万枚、間仕切り20セット、消毒液40ℓや、県が無償配布する高濃度エタノール108ℓは各避難所への配備を検討している。衛生管理に関しては手指の消毒、定期的な換気、清掃の徹底等の感染対策を含む避難所運営マニュアルを早急に計画策定し適切な避難所運営に繋がっていく。

● 質問2 ● 消防団詰所について

鬼籠野地区の消防団詰所と集会所を兼ねた所で固定電話もなく携帯電話も入らない場所がある。地元消防団から要望が出ているこの件に関して今後どう対処していくのか。今現在の進捗状況は。

答弁 総務課長

現地の状況は、au・ソフトバンクは弱いながらも電波が確認できている。NTTドコモに



おいては電波が弱い。事業者へ確認したところ状況を認識しているが現段階での改善計画はないが、今後検討するとの回答を得ている。格差是正での対応は、規定で3社共に電波が入らない場所が対象となる、この案件は該当しない為、NTTドコモへお願いして今後の検討を進めて頂きたいと考えている。

一般質問



高橋義英 議員

●質問1● 人口減少問題

人口減少が問題視される中、神領ばかり発展している。ほかの地域のことはどうなっているのか。今後新たに各地で人口増につながる住宅、宅地などの対策を聞きたい。

答弁 町長

現時点ではそのように映るかもしれないが、かつては住宅施策のほとんどが広野方面で展開していた時期もあった。

町が毎年町営の住宅を建て続けるということは、財政状況から至難の業である。空き家等を借り、改修しながら町内全域で集落が点在するような5戸、10戸の住宅を展開していくのがいいのではと考える。

再問

現神山町民を流出させない対策などはあまり行われていないと思っている。今後神山町民の流出を食い止める対策などはあるか。

答弁 町長

しっかりと行政もサポートしていくことを展開しなければ、どんどん出て行くということになる。転入と転出のバランスがとれた格好で、2060年人口3,200人に到達できるようにもっていききたい。

●質問2●

新型コロナウイルス対策
— 町民の方への伝え方 —

5月の中頃から大変暑くなっており、熱中症が心配される。

感染すれば重症化しやすい新型コロナウイルス感染症、高齢者の方への今後感染症対策と熱中症対策をどのように両立して町民の方にイベントなどの実施をしてもらうのか。

答弁 健康福祉課長

特効薬、ワクチン等が開発されるまで、至近距離で人と接する場合にはマスクを着用し、3密を避け、手洗いを励行するなど、基本的な感染対策を継続し

ていただくようお願いする。

「暑さを避ける」「適宜マスクを外す」「こまめな水分補給」「日頃からの健康管理」「暑さに備えた体作り」等新しい生活様式における熱中症予防行動のポイントを、今後も広報、防災無線、ホームページ等で伝えていく。

再問

今後の第2波、第3波にどのような備えや対策やマニュアルなど作成は行っているのか。

答弁 健康福祉課長

神山町新型コロナウイルス対策等対策行動計画を見直し、それを今後マニュアルとして使っていく。

●質問3●

教育現場における新型コロナウイルス対策

神山町は他町村より早く授業の再開をされているが、体力、生活リズムなどの狂いから精神面までどのようにケアされているか。体育の授業では特に熱中症対策、感染症対策をどのようにされているのか。

答弁 教育長

管理職の指導の下、学級担任や養護教諭を中心としてすべての教職員によるきめ細やかな健康

観察等から児童生徒の状況を把握するように指導している。神山町では休業した日数が13日と少なかったこともあり、特に問題等の報告は受けていない。体育の授業ではマスクを外し、密接するような対面学習を行うような時には、マスクを着用するなど対策をしている。

再問

授業の遅れとか数多くの心配がされている。文部科学省が打ち出しているギガスクール構想について、神山町では光ケーブルもいち早く導入され、ICTのまち神山でそのような取り組みは今後どのように考えているのか。

答弁 教育長

令和5年度までに児童生徒一人1台の端末の整備を目指すという方針が示されているが、「学びの保障」が課題となり、国の補正予算では、令和2年度中に一人1台端末の整備を目指し、予算計上されている。神山町でも整備に向けて早急に検討している。長期休業や緊急時においてもICT活用によりすべての子供たちの学びを保障できる環境を整えていきたいと考える。

町内バスツアーを体験して

6月定例会第6日目の6月24日に町内視察として、町内バスツアーを実施した。

2060年の人口問題が考えられる今、国の地方創生戦略1期目が終わりに近づき第2期目の戦略につなぐ公社、又役場の職員は構想に力を入れている。

まず、出発前に役場内で神山を今どの様に感じているのか、一人ずつ発表をし、庁舎を後にした。初めにフードハブプロジェクトでかま屋へ行った。

神山での地産地食にかける思い、高齢化による耕作放棄地をなくそうと城西高校神山校の生徒と考え農業への考えを知った。そのあとシェフのジュローム・ワーズさんの料理を頂いた。以前はバイキング形式だったが、この度、客席へ提供する形式に変わった。これもコロナ禍の対策だと思った。

お腹も満たされ、次に鮎喰川コモンハウスへ。神山町産材の木が至る所に使われ、全て大工さんの手作業で建てられた。木の釘、込み栓で、木と木が繋がれる。神山の大工さんの技を目にして、この素晴らしい技術を次世代に残していかなければならないと思った。最近の建築物は工場でするプレ

カットで安く早くなっているが、手作業することにより組み方がしっかりすることも解った。この施設が完成したら、皆様方も木の温かみを実感されると思う。

次に里山みらいへ。この施設は2015年4月に発足し、2019年3月にJA名西郡、神山町と三者協定を結んだ。担い手育成を目的とし研修と就農支援を行っている。6次産業化そして神山のすだちをPRしていく、理事長の佐々木宗徳さんの熱い思い考



大埜地集合住宅内に建設中の鮎喰川コモンハウス

えを聞き神山のすだち農家の今後を考え今出来る最大限の挑戦をされ、次世代のすだち農家を育成していく大変さを知った。

最後に今年完成した、神山校の寮となったあゆハウスに行った。あゆハウスを支える地域の人がハウスマスターとして寮生の自主性を尊重しながら、一人一人が心地よく暮らしていく事が出来るように、共に考え必要な場所やきっかけをつくっていく。県外、県内出身の7人の寮生が共に暮らす中で色々な体験をされ育っていた。朝ご飯の支度を夜にしておく事を聞いたときは本当にビックリした。神山がいい、神山に住みたいと、一人でも言ってくれるようになればいいと思う。

今回のバスツアーに参加して、各事業はそれぞれ違うが、たずさわっている人の思いは一つで、「神山をどうにかして良くしたいの思い」が強く感じた。

今回で第54回目のバスツアーで今まで691人の方が参加され、一人一人思いや考えは違うかもしれない。神山が新しく変わって行こうとしている時なのかもしれない。

(高橋 義英)

神山の風景



■旧上分中学校舎廻り樹林伐材作業



人口減少の神山町、町内各地にあった中学校も神山中学校一校となってしまいました。月日も流れ上分中学校の旧校舎の廻りも樹木が大きくなりいつそう暗く寂しい状態となつていますが、6月14日上分地区の有志の方々が一日がかりで伐材作業を行いました。大変な作業でしたが明るくなった校舎をみると新たな活力が湧いて来ました。

議会の動き

- 8月
 - 21日 国道193号倉羅トンネル開さく促進期成同盟会
 - 25日 徳島県町村監査委員役員会
 - 26日 大川原旭丸線期成同盟会総会
- 9月
 - 上旬 議会運営委員会
 - 中旬～下旬 9月定例会
 - 25日 神山中学生議会
 - 29日 四国四県町村長議長大会

表紙写真説明

6月12日、JAとフードハブのご協力のもと、神領小と広野小の5年生が役場駐車場下の水田で田植えをした。

梅雨の合間の天候にも恵まれ、田んぼに実際に入り土の感触や水の冷たさを感じとても新鮮な気持ちになった。また、田植え機にも乗り、「早い、楽」と機械の便利さを感じていた。

秋の収穫期には、稲も子供たちも強く、大きく育っている事でしょう。

編集後記

新型コロナウイルスによる生活・経済への影響がまだまだ収まらず、各種各地のイベントや会合などが中止延期となり皆様方にはなにかとご不便をおかけしている中、マスクの着用傍聴席でのソーシャルディスタンス等の対策を取りつつ令和2年度6月定例議会を開催し補正予算を含む29議案を可決いたしました。今議会において新たに議会活性化特別委員会を設置し、皆様方からの付託に応えられますよう議会としての資質向上を目指します。

緊急事態宣言の解除、県をまたぐ移動の緩和などの措置がなされてはおりますが、特效薬の開発や確実な治療の確立はなされておりません。ますます暑くなり注意力が散漫になりがちな時期ではございますが、気を緩めることなく感染予防に努めていただきご自愛いただけますようお願い申し上げます。

(森 一博)

公職選挙法により、議員(候補者)候補者になること(する者)は町民に對しての寄附や御歓びを贈ることは禁止されています。

議員一同